# 1 テイ・エス テック株式会社

| | 各社の考え方 |
|---|---|
| □ 算定を行う背景・目的 | ● 当社は、世界が求める持続可能な社会の実現に向け、ＥＳＧ観点での事業戦略に大きく変革した。その中で、「社会環境との共生」を企業の重点施策の一つとして位置づけ、これまで以上に地球環境に配慮した製品づくり、事業活動を強力に推進している。<br>● 部品点数の多い当社製品の製造には、多岐にわたるサプライヤーからの部品供給が必要となる。このような状況の中、世界が求める持続可能な社会の実現には、当社のみならずサプライチェーンが一丸となった環境に配慮した事業活動が必要と考え、Scope3算定を行っている。 |
| □ 算定結果の活用方法 | ● Scope3算定を行い、カテゴリごとに排出量の割合や環境負荷影響を把握し、削減目標や重点カテゴリを明確にするツールとしての活用<br>● 環境に配慮する企業としての認知度向上のため、ステークホルダーとのコミュニケーションツールであるＴＳテックレポート（統合報告書）、ホームページ等での開示情報のさらなる充実 |
| □ 算定のメリット | ● Scope3をカテゴリごとに把握することで、「リスク・機会の認識」と「割合が大きいカテゴリの判定」を行い、優先順位づけ等により効率的かつ具体的な事業戦略の立案ができる。<br>● Scope3算定・公開により、企業のESG情報開示を充実させることができ、ステークホルダーとのコミュニケーションを活性化できる。 |
| □ 社内の算定体制 | ● 環境活動を所管する部門が、算定を実施している。<br>● 算定に必要なデータ（生産台数、製品重量、社員の開発から生産に関わる活動費等）は関連部門より収集している。 |

# 2 テイ・エス テック株式会社

| | 各社の考え方 |
|---|---|
| □ サプライチェーン排出量の削減に向けて | ● サプライチェーンでの詳細な温室効果ガスの発生状況を把握したうえで、当社としての削減方針を定め、当社の購買方針を説明する「取引先懇談会」や定期的な取引先との情報交換等を通じ、削減方針を共有しながらサプライチェーン全体での排出量削減に取り組む。 |
| □ サプライチェーン排出量算定の課題 | ● 排出量削減に向けて、主要カテゴリのより精度の高い算出方法の構築。<br>● 当社の製品特性上、部品が多岐にわたるため、精度の高いデータの積み上げ。 |
| □ その他（任意） | |

# 3 テイ・エス テック株式会社

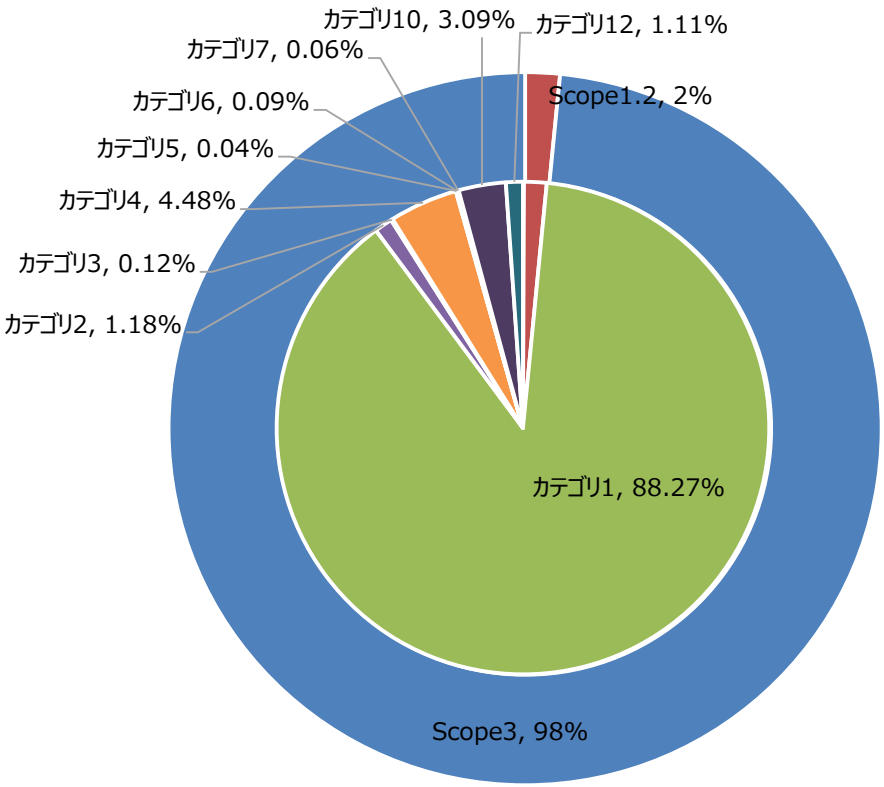
| カテゴリ | 算定方法 | |
|---|---|---|
| | 活動量 | 原単位 |
| カテゴリ1「購入した製品・サービス」 | ● 購入した製品・サービスの金額 | ● 産業連関表ベースの排出原単位※ |
| カテゴリ2「資本財」 | ● 資本財の投資額 | ● 資本財の価格当たり排出原単位※ |
| カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」 | ● エネルギー種別ごとの使用量 | ● 電気・熱使用量当たりの排出原単位※<br>● CFP-DB |
| カテゴリ4「輸送、配送（上流）」 | ● 荷主分、サプライヤー輸送にかかる輸送トンキロ | ● 輸送トンキロ法の排出原単位※ |
| カテゴリ5「事業から出る廃棄物」 | ● 廃棄物種類別の重量 | ● 廃棄物種類別排出原単位※ |
| カテゴリ6「出張」 | ● 交通費支給額 | ● 交通費支給額当たり排出原単位※ |
| カテゴリ7「雇用者の通勤」 | ● 交通費支給額 | ● 交通費支給額当たり排出原単位※ |
| カテゴリ8「リース資産（上流）」 | ● Scope1.2にて、計上済みのため算定対象外 | |
| カテゴリ9「輸送、配送（下流）」 | ● 該当する活動が無いため、算定対象外 | |
| カテゴリ10「販売した製品の加工」 | ● 販売台数、製品重量 | ● NEDO 定置用燃料電池システム及び燃料電池自動車のライフサイクル評価に関する調査 |
| カテゴリ11「販売した製品の使用」 | ● 該当する活動が無いため、算定対象外 | |
| カテゴリ12「販売した製品の廃棄」 | ● 販売台数、廃棄処理別の部品重量 | ● 廃棄物種類別排出原単位※ |
| カテゴリ13「リース資産（下流）」 | ● 該当する活動が無いため、算定対象外 | |
| カテゴリ14「フランチャイズ」 | ● 該当する活動が無いため、算定対象外 | |
| カテゴリ15「投資」 | ● 該当する活動が無いため、算定対象外 | |

※サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース

# 4 テイ・エス テック株式会社

## 算定結果

- サプライチェーン排出量




| Scope | カテゴリ名 | 割合[%] |
|---|---|---|
| Scope1（ガソリンや軽油などの直接排出） | | 0.07% |
| Scope2（電気などの間接排出） | | 1.50% |
| Scope3 | 1.購入した製品・サービス | 88.12% |
| | 2.資本財 | 1.20% |
| | 3.Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動 | 0.12% |
| | 4.輸送、配送（上流） | 4.54% |
| | 5.事業から出る廃棄物 | 0.04% |
| | 6.出張 | 0.09% |
| | 7.雇用者の通勤 | 0.06% |
| | 8.リース資産（上流） | 0% |
| | 9.輸送、配送（下流） | 0% |
| | 10.販売した製品の加工 | 3.13% |
| | 11.販売した製品の使用 | 0% |
| | 12.販売した製品の廃棄 | 1.12% |
| | 13.リース資産（下流） | 0% |
| | 14.フランチャイズ | 0% |
| | 15.投資 | 0% |
| | その他 | 0% |
| 合計 | | 100.0 |

＊グラフ内の数値は排出量の割合（%）を表示しています